

4月の市長選挙で再選し、引き続き、まちづくりのかじ取りを担わせていただくことになりました。改めて身を引き締め、市政執務に当たってまいります。

私は、8年前の市長就任以来、「フードバレーとかち」を旗印に、産業振興の取り組みを中心として、福祉や教育、都市づくりなどの幅広い政策を結び付けながら、持続的に発展する活力あるまちづくりの実現に向け取り組んできました。

この地域には、豊かな自然、食や農、空間や時間のゆとりなど、大都市圏にはない強みや魅力ある資源があります。こうした資源は、将来の発展につながる「潜在力」であると考え、この潜在力を十勝全体が一つになって、内外に発信していくことから、フードバレーとかちは始まりました。

2期8年が経過し、十勝・帯広を外側から見ただく目が変わ

市長コラム

夢かなうまち
おびひろ

皆さんと拓く
十勝・帯広の未来



帯広市長 米沢 則寿

り、この地域の人たちの主体的な動きも出てきています。今回の選挙活動中、「フードバレーとかち」を途中で止めないで、最後までしっかりと仕上げてほしい」といった多くの激励を直接いただき、これまで進めてきたことは間違いではなかったと実感し、とても勇気づけられました。

一方で、市民の生活に関わる市の条例や予算は、市民の代表機関である市議会の議決を経て成立しますが、議決に至る前の段階において、市からの情報提供の仕方がまだまだ足りないのではないかとのご意見もいただきました。

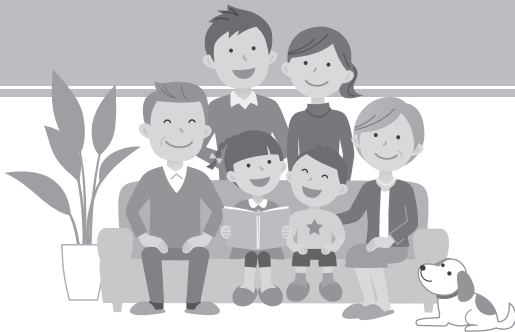
こうした声を真摯に受け止め、市長就任記者会見の際に、私は、3期目にかける思いを「信」という漢字一文字で表現しました。選挙活動中においても「責任ある信頼」という言葉を幾度か使わせていただきましたが、信頼は、無責任の上には成り立ちません。

行政ができること、できないことを正しく説明し、行政の責任をしっかりと果たしていくことで、市民の皆さんとの信頼関係が築かれるものだと考えます。市民の皆さんとの信頼感を高めながら、これまで蓄積を大切にし、動き始めた主体的なまちづくりの動きを止めることなく、自立や自走に向けて、しっかりと取り組んでいく必要があります。

十勝・帯広には、将来への発展の可能性が大きく広がっています。未来に挑戦する進取の精神を受け継ぐ市民の皆さんとともに、新しい開拓の時代に覚悟をもって向き合い、知恵や情熱を結集し、「夢かなうまち おびひろ」の実現に向けて、全力を尽くしてまいります。

まちづくりに
あなたの声を

市長への手紙をお寄せください



市民の皆さんの声を市の仕事に反映させ、市民協働のまちづくりを進めるために、この用紙を使って市政へのご意見・ご提言をお寄せください。

回答を希望される場合は、必ず住所、氏名を記入してください。匿名の場合は回答することができません。文書で回答したものは、原則として、個人が特定できないように編集した上で広報紙やホームページなどに掲載します。お寄せいただいた内容の公開について、承諾いただけるかどうかをこの用紙のチェック欄でお知らせください。

なお、個人情報については帯広市個人情報保護条例に基づき適切に取り扱います。

問い合わせ 広報広聴課（市庁舎3階、☎65・4110）

市長への手紙

ご意見・ご提言をお寄せください

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

回答が不要の場合は□に✓を記入してください
□ 回答はらない

ご意見と回答の要旨を、広報紙やホームページなどに掲載してよろしいですか
□ 掲載してよい※ □ 掲載してほしくない（□に✓を記入してください）

ご住所：〒 帯広市

お名前： 年齢： 歳 性別： 電話： （ ）

※掲載するのは文書で回答したものに限りです。また、ご意見と回答の要旨は、個人が特定できないように編集します。